

第1週の発生動向 (2005/1/3~2005/1/9)

1. 感染性胃腸炎については、報告数の多い状態が続いているため、保育所、学校、高齢者施設など感染が拡がりやすい場所では今後も注意が必要です。
2. 水痘については、**八戸保健所管内**において、前週に引き続き**注意報**が出されています。
3. インフルエンザについては、弘前保健所、上十三保健所管内において患者報告がありました(迅速診断によりA型:5名、B型1名)

第1週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ			3	0.20					3	0.33			6	0.09	-4
(60) 咽頭結膜熱											1	0.25	1	0.02	-5
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.63	16	1.60	3	0.33	2	0.40	11	1.83	1	0.25	38	0.90	-4
(62) 感染性胃腸炎	76	9.50	116	11.60	36	4.00	5	1.00	24	4.00	22	5.50	279	6.64	15
(63) 水痘	21	2.63	15	1.50	42	4.67	12	2.40	16	2.67	9	2.25	115	2.74	27
(64) 手足口病	2	0.25			5	0.56			1	0.17	6	1.50	14	0.33	-19
(65) 伝染性紅斑	1	0.13	1	0.10	4	0.44							6	0.14	6
(66) 突発性発しん	3	0.38	6	0.60	6	0.67	1	0.20	6	1.00	4	1.00	26	0.62	9
(67) 百日咳															
(68) 風しん															-2
(69) ヘルパンギーナ	6	0.75											6	0.14	5
(70) 麻しん(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	17	2.13			6	0.67	3	0.60					26	0.62	8
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎			2	0.67	2	1.00	5	5.00	1	0.50			10	0.91	7

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	11	5	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	43	22	11	6

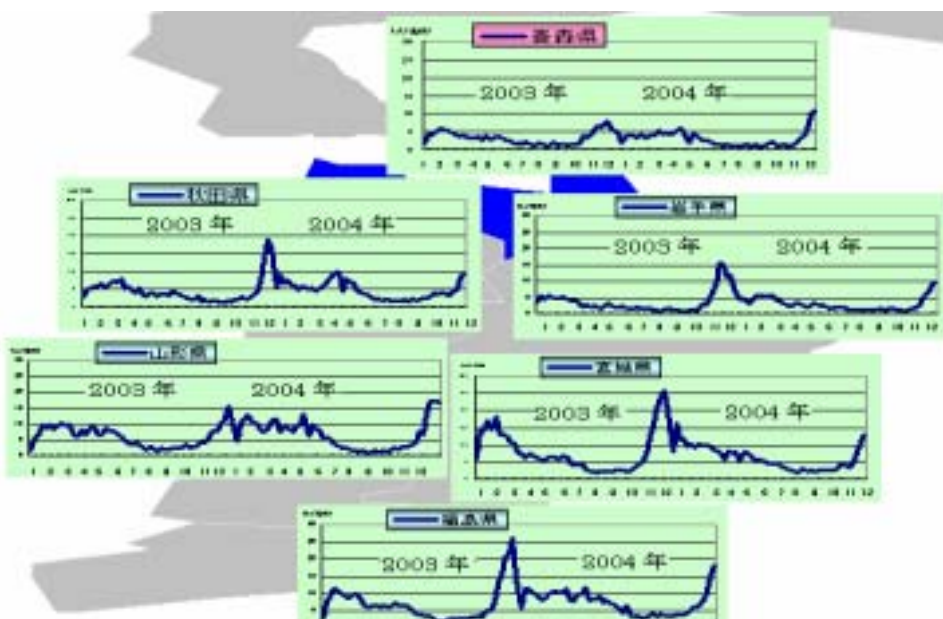
■ は警報です。 ■ は注意報。 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 青森保健所管内(O157): 1人
- (59) RSウイルス感染症(五類定点把握疾患) 弘前保健所管内: 2人
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内: 3人

感染症の窓

感染性胃腸炎



東北六県における2003年-2004年の感染性胃腸炎報告数の推移

左図のように東北六県における感染性胃腸炎は毎年11月から3月頃までが多発時期となっています。また、全国においても同様の傾向が見られます。

ノロウイルスなどの感染性胃腸炎の二次感染予防のためには、以下のことに注意して下さい。

吐物や便の処理は素手では行わない(使い捨て手袋などを使用する)

また、吐物などの処理は漂白剤(ハイター等)や消毒剤(ミルトン、ピューラックス等)を用いて周囲に拡散しないように静かに後始末を行い、さらに消毒剤を噴霧しておく。

調理、発症者の便の処理の**前後**及び吐物などの**処理後**には必ず消毒用石ケンで**十分に手洗い**を行う(石けんをよく泡立てながらすりあわせて**十分な流水**で洗う)